

第 18 回世界華商大会に 193 名の会員で参加！

世界華商大会は 1991 年にシンガポールで第 1 回が開催されて以来、世界各地の華商が交流と協力を深める国際的なプラットフォームとして確固たる地位を築いてきました。

日本中華總商会は本大会における日本唯一の公式窓口として、2025 年 11 月 2 日から 4 日にかけて、団長蕭敬如氏、共同団長嚴浩氏、執行団長徐志敏氏、副執行団長尚捷氏をはじめ、会員 193 名の代表団がマカオで開催した第 18 回世界華商大会に参加しました。企業賛助会員である日本企業の多数参加したほか、関西、新潟東北、また各団体会員も積極的に参加しました。

今回の大会では、日本中華總商会の常務副会長徐志敏氏がフォーラムの講演ゲストとして登壇し、「東京湾区」の発展構想を紹介しました。展示会には会員企業 2 社が出展し、期間中に 100 社を超える企業と交流を実現。さらに、ビジネスマッチングには会員企業 40 社が参加し、多くの海外企業との実りある交流が行われました。

基調講演やフォーラム講演、現地視察など、多彩なプログラムが展開され、参加した会員からは「非常に充実した日程で、今後のビジネスの励みになった」といった声が多く寄せられました。



日本中華總商會 事務局
2025 年 11 月 6 日